

新居浜市で想定される地震

地震について学ぼう

愛媛県内で被害が想定されている南海トラフ巨大地震は、駿河湾から日向灘にかけてのプレート境界を震源域として、概ね100～150年間隔で繰り返し発生してきた大規模な地震です。その発生確率は、今後10年以内で「30%程度」、30年以内では「70～80%」、40年以内では「90%程度」と予測されています。

新居浜市内においても、広範囲で甚大な被害が予想されていますので、引き続き十分な警戒が必要です。

南海トラフ巨大地震 想定震源域(内閣府)



2016年(平成28年)熊本地震

2016年(平成28年)4月14日21時26分、熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード6.5(最大震度7)の地震が発生し、その約28時間後の4月16日1時25分、同じ熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード7.3(最大震度7)の地震が発生し、地震活動域は熊本県阿蘇地方や大分県中部にまで拡大しました。最大震度1以上を観測する地震の回数は最初の震度7の地震から5か月後までに4,000回を超えるなど、地震活動は広域で極めて活発となり、熊本県を中心に甚大な被害が生じました。

死者(災害関連死含)	273名
負傷者	2,809名
住家被害(全壊・半壊)	43,386戸

出典/消防庁応急対策室 平成31年4月12日18:00時点集計



熊本県上益城郡益城町 平成28年4月23日 写真提供:国土交通省九州地方整備局

南海トラフ巨大地震による最大の被害想定を知ろう

新居浜市の最大震度は7です!

最大震度 **7** 最大クラス **M9.0**

震度は、地震の揺れの大きさを表した指標値

マグニチュード(M)は、地震が発生するエネルギーの大きさを表した指標値

避難者数 (1ヶ月後:冬18時)

81,348名

人的被害 (死者:冬深夜)

1,841名

建物被害全壊 (冬:18時)

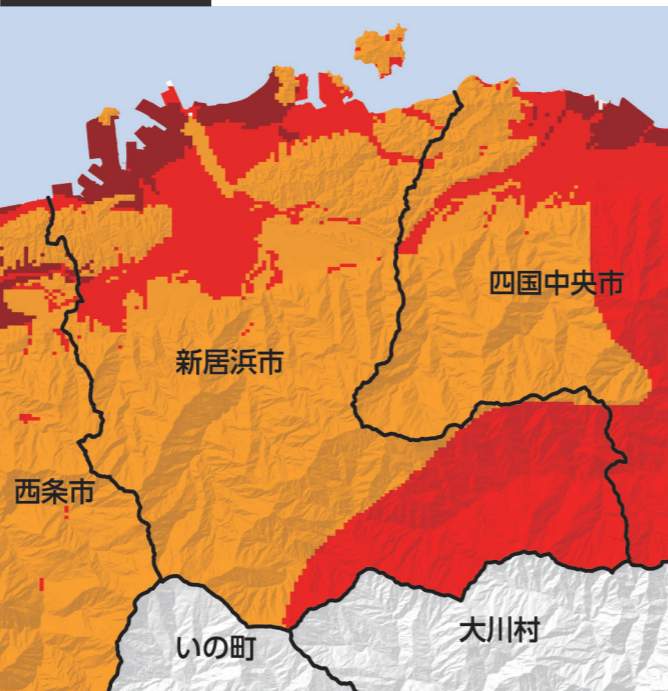
35,169棟

凡例

震度階級

- 震度7
- 震度6強
- 震度6弱

震度分布図



より詳しい内容はこちらをご覧ください。

震度分布図・液状化危険度分布図

P.6-7

地震大国日本:海溝(プレート境界)型と内陸直下型、2種類の地震

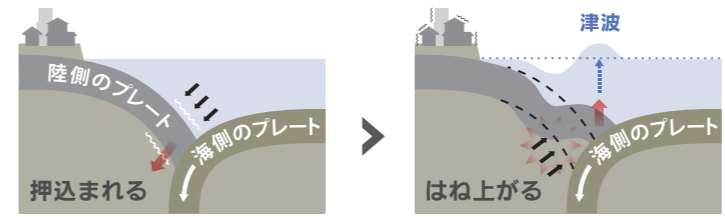
日本列島は、4つのプレートが周囲を取り囲む地震密集地です。日本で地震が多いのは、これらのプレートがぶつかり押し合うエネルギーによりプレート境界の破壊が起こるためであり、世界中で発生する地震のおよそ10%が日本列島周辺で発生しています。

日本列島周辺では、阪神・淡路大震災(1995)以降は「地震の活動期」に入っており、今後は高い確率で発生が予想されている南海トラフ巨大地震(海溝型)とその活動の前後で起こる活断層地震(内陸直下型)への警戒と備えが重要です。

海溝(プレート境界)型地震

関東大震災、十勝沖地震、東日本大震災など

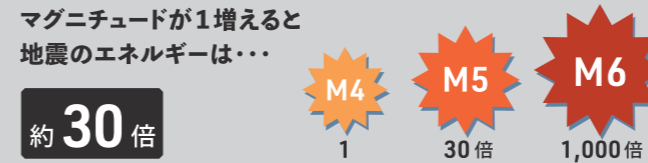
海側プレートが陸側プレートの下に潜り込むことで、境界にひずみエネルギーが溜まり、これが限界に達したときにプレートが元に戻る力ではね上がり、地震が起こります。(押し込まれるときにも内陸側で地震が起きます)



マグニチュードと震度について

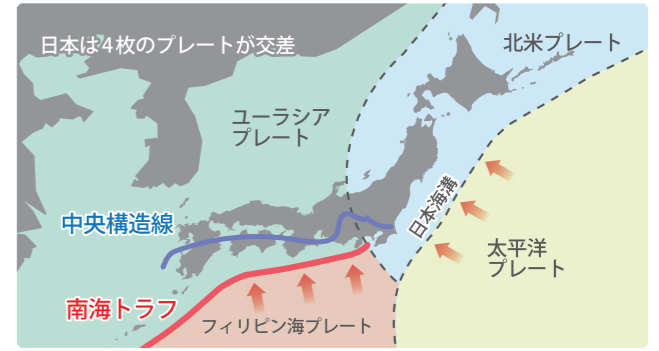
地震を表す「マグニチュード(M)」は、「地震エネルギーの大きさ(規模)」を、「震度」は「地震のゆれの強さ」を示します。

「マグニチュード=エネルギー」が大きいても、震源が遠い、深い場合は「震度=ゆれの強さ」が小さくなります。逆に「マグニチュード」が小さくても、震源が近い、浅い場合は「震度」が大きくなります。



地震規模の比較 (M=マグニチュード)	名称・日付	地震規模	震源域面積	死者・不明
	阪神・淡路大震災 1995年1月17日	M7.3	675 km ²	6,437名 出典:消防庁
	関東大震災 1923年9月1日	M7.9	5,000 km ²	105,385名 出典:内閣府
	東日本大震災 2011年3月11日	M9.0	100,000 km ²	22,318名 出典:消防庁
	スマトラ沖地震 2004年12月26日	M9.1	180,000 km ²	220,394名 出典:内閣府
南海トラフ巨大地震 今回の想定				
M9.1				
140,000 km²				
323,000名 出典:中央防災会議				

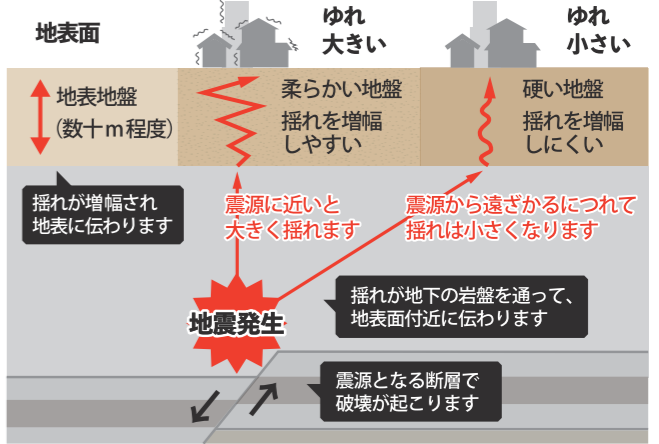
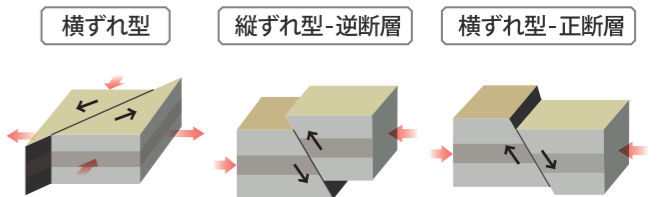
「南海トラフ巨大地震」に関する数値は、耐震化等の対策を講じなかった場合に想定される数値であり、日頃から備え、防災・減災対策に取り組むことにより、地震の規模に関係なく被害を軽減することができます。



内陸直下型地震

阪神・淡路大震災、新潟中越沖地震、芸予地震など

地下の岩盤に、押し合う力や引っ張り合う力が加わることで、内部にひずみのエネルギーが溜まり、これが限界に達したときに、ある面(活断層面)を境にずれ動き直下で地震が起こります。海溝に沈むプレート内でも同じ現象が起こります。



地震

津波

洪水

土砂災害

ため池

高潮

役立つ情報

マイ・タイムライン

地震

津波

洪水

土砂災害

ため池

高潮

役立つ情報

マイ・タイムライン